

外尾 悦郎（そとお えつろう） プロフィール

1953年（昭和28年）生まれ。サグラダ・ファミリア聖堂にて芸術工房監督。福岡教育大学附属小学校、同中学校、福岡県立福岡高等学校、京都市立芸術大学美術学部彫刻科を卒業。中学校・高校定時制非常勤教師として勤務したのち、1978年バルセロナに渡る。

彫刻家として認められ、アントニ・ガウディの建築、サグラダ・ファミリアの彫刻に携わる。2005年アントニ・ガウディの作品群として外尾悦郎の作品を含む「生誕の門」と「地下礼拝堂」がユネスコの世界遺産に登録される。

リヤドロ・アートスピリッツ賞、2002年福岡県文化賞受賞。

2008年度外務大臣表彰受賞。2011年国際カトリック文化金メダル受賞。

2012年ミケランジェロ賞受賞。2014年ヨーロッパ建設金十字勲章受賞。

ガウディ・グレソール賞受賞。サン・ジョルディ・カタルーニャ芸術院会員。

気仙沼大使。



Photo: Yusuke Abe

【著書】

「バルセロナ石彫り修業」筑摩書房	1985年
「バルセロナにおいでよ」筑摩書房	1990年
「夢は石の中に」かたりべ文庫	1994年
「Dalla Pietra al Maestro」Cantagalli	2008年
「ガウディの伝言」光文社	2010年
「De la Piedra al Maestro」Palabra	2010年
「LA LIBERTAD VERTICAL」Encuentro	2010年
「サグラダ・ファミリア ガウディとの対話」原書房	2011年
「外尾悦郎作品集」	2016年

【CM】

ネスカフェ ゴールドブレンド	2001年
NTTコミュニケーションズ	2010年



外尾の作品 ハープの天使

【サグラダ・ファミリア】

サグラダ・ファミリア（聖家族教会）は、1883年からガウディが手がけた、バルセロナの象徴的な巨大建造物（予定高さ170m）。ガウディは40年以上、とくに1914年から亡くなる1926年まで、ほかの仕事は一切断りサグラダ・ファミリアに専念した。

すでに完成している中でも生誕のファザードと地下礼拝堂の部分が、2005年世界遺産に登録された。



外尾の手がけた生誕のファザード・15体の天使・門扉
サグラダ・ファミリア聖堂



外尾の作品 説教壇（聖書台）
イタリア・フィレンツェ

サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂